



学校だより

令和3年：4月号

横浜市立山内小学校
校長 佐藤 正淳

～あったかハートでふれあおう！ みんな友だち 元気いっぱい 夢いっぱい～

令和3年度スタート 学校として大切にすること

「桜＝入学式」は過去の話となるのでしょうか。校庭の桜は散りました。しかし、キラキラワクワクの新入生、そして新しい学年に胸膨らませる新2年～6年生、総勢 689 人が大輪の花を咲かせます。さあ、令和3年度のスタートです。

新型コロナウイルスに揺れた令和2年度。そして今。決して安心できる状態とは言えませんが、今年度で創立148年を迎え、多くの方々に支えられる「共育・共創の学校」山内小学校は、全ての子どもたちの幸せ、全ての保護者の満足、そして、より豊かな“まち”の創造に向け、みんな（学校+家庭+地域）で確かな歩みを進めていきます。令和3年度も力強く！ 創造的に！！ よろしく願いいたします。



689人

男子 371人
女子 318人

1年 122人

2年 116人

3年 105人

4年 128人

5年 112人

6年 106人



さて、今年度は例年より多くの教職員が山内小学校から異動となりました。一人ひとりを思い浮かべると…。学校の中心となって活躍した職員、保護者からの相談を親身になって受けていた職員、子ども一人ひとりに本当に優しく寄り添った職員、体も声も心も大きかった職員、子どもの小さな変化を見逃さなかった職員…。誰もが強みや個性を発揮し山内小学校を支えてくれました。新たな場でも、山内小学校での経験をいかし、その「強み」「長所」「個性」を発揮しながら活躍してくれると信じています。長い間、ありがとうございました。

誰一人とり残さない ●●●●●●●●

4月1日。今年度スタートにあたって教職員に伝えたことです。

この言葉は、これまで「あったかハート」とともに、山内小学校が、子どもに対して大切にしている最上位概念としてきたものです。“今さら??”感はあるのですが、新年度、新たに迎えた13人、そしてこれまで学校を支えたメンバーを思いながら、教職員に対しても！と、心に誓ったことです。

一人ひとりにバックボーンがある。生まれ育った環境も違えば、それぞれに生活もある。『学校現場はブラック』なんて言葉を吹き飛ばしたい。校長として意識すること、教職員がチームとして意識すること、そして個々人では、異動していった教職員同様、その「強み」「長所」「個性」を発揮してほしいということ。経験の差、諸々力量の差があるのは当然。でもその職員にしかない「強み」「長所」「個性」がある。それらを生かして、互いに尊重する。それが次なる創造の礎となる!! そんな教職員集団であるならば、そんな集団のクラスや学年を創り、より素敵な学校を創ると確信しています。さらに、「強みの発揮」と「互いの尊重」そして「創造」は、PTAや「Yぷらす（地域学校共同本部）」の活動にも伝播することも信じています。

『誰一人とり残さない!』 山内小学校はそんな学校であり続けます!

一人の子を複数で ●●●●●●●●

詳細は「学年だより」等でお伝えしますが、昨年度より担任以外の先生が教える学年が増えます。山内小学校は9年前から先進的に「教科分担制」を進めてきました。この取組の最大のメリットは、“一人の子を複数で”で支えるということです。担任だけでは気付けなかった、一人ひとりの可能性や課題を早期に発見することにもつなげてきました。

その取組を、もう一步、前に進めます。例えば1年生。昨年度は担任が全教科を教えていた（教務主任のクラス除く）のですが、音楽と外国語を担当以外の先生が教えることとなります。特徴的な学年（1.2.4年）を記しますが、全ての学年で、全ての教職員が“一人の子を複数で”を胸に、子どもたちを豊かに支えていきます! そして、『複数』の輪に、保護者も地域の方も加わるのが「共育・共創の学校＝山内小学校」です!

1年 担任+音楽+外国語

2年 担任+音楽or図工+外国語

4年 4人の担任で教科分担(社会・理科・体育・外国語/書写)+音楽+図工

※ 校内の役割(教務主任他)により、クラスによっては担当教科が変わる場合があります。